

荒川水系河川整備計画（原案）に対する公聴会

日 時：平成 27 年 12 月 21 日（月）13:00～13:20

会 場：②国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所

発言者：公述人 3

それでは、荒川河川整備計画（原案）について意見を述べさせていただきます。私、発表事項としては、「水上交通の利用について」、また「河川敷の有効利用について」、また「荒川下流タイムラインについて」と「スーパー堤防について」でございます。

まず、荒川の水上交通の利用については、河川整備という観点から緊急用船着き場のことが述べられているだけです。現在、東京湾の石油コンビナート等より荒川をタンカーが行き帰りしております。しかし、隅田川のように水上バスの航行はありません。東京都の管理しているためか、水上バス会社は、東京都公園協会という都の外郭団体が運行しています。しかも操船士は隅田川と東京港の天候、潮の干満、水深などを熟知しております。荒川は国土交通省関東地方整備局河川部の管理する河川ですので、荒川下流域も東京オリンピック・パラリンピックまでに水上バスを運行されることを提案致します。しかしながら荒川下流域では、川幅も十分ありますが、流水面の半分以上が干潮時には干潟になってしまう場所や船舶航行に十分な水深が無いところがあります。災害時の為、このような川質を熟知するために水上バスを運航しながら船舶操縦士の育成が必要であると思います。

次に、河川敷の有効利用についてです。ご存じの通り、上流域では“自然とのふれあい遊びながら”というテーマで、熊谷市辺りからの下流域の河川敷では、ゴルフ場やスポーツグラウンドなど公園など、多くのレジャー施設として利用されております。また、最近では、健康のためにウォーキングやランニングなどの人たちが平日でも多く見られ、土曜日曜祭日などでは、自転車も加わり賑わっております。トイレと水道は約 2 km 毎に設置されているようですが、昨今の気象現象で急な雷雨・突風などの天候の変化があります。このような時に、避難できるような場所が必要では無いでしょうか？ただ橋脚の下で避難というようなことでは不安ということで、事実数年前に、旧岩淵水門を渡った木立の中で雨宿りしていた釣り人が落雷を受けて一人が死亡して、数人がけがをしたことがあります。河川敷に構築物などいろいろな制限や規制があると思いますが、是非研究してみてください。さてここ荒川河川敷で東京都内にある唯一のバーベキュー広場です。近年は異常なほどの人気で、北区で土曜日曜祭日の管理している駐車場で車両番号を見てみると、地元練馬ナンバーどころか都内より埼玉・神奈川・千葉など地方からの来場者が多く、メジャー場所になっております。休日はもとより平日でも、気候の良い時期には数人のバーベキューをしている人たちが見ることがあります。しかしながらマナーの悪さが目立ってきました。ゴミを置きっ放しで帰ったり、中には町中にゴミを捨てていく、こういうことを行っている人達が数多く見られます。また、業者は駐車場がオープンと同時に、テントとバーベキ

ューセット等を設置して場所取りをしていきます。この行為が全て悪いとは思いません。なぜかと言いますと、このような業者は、きれいに掃除をしてゴミも持ち帰っています。そこでバーベキュー広場だけでなく知水資料館と駐車場を含めた指定管理者制度など、検討会か研究会の設置を提案致します。

次に荒川下流タイムラインについては触れられていませんが、荒川水系全体の整備計画からでしょうか？しかし多くの被害をもたらす可能性が高いことを想定した元に策定と聞いております。また、低地地域と地下鉄道に浸水して駅の水没など洪水から命を守り迅速な復興活用にされることと思いますので、このタイムラインを荒川下流地域住民に周知していく必要が大事なことではないでしょうか？それによってスーパー堤防などの治水の理解と協力を得ることができるのかと思います。また、このスーパー堤防が長い距離の間ではなく、スポットスポットで地域のミニ開発がされるところから順番に命の丘という逃げ場みたいな小山を作って、そのうえ、建物を建てていく方法もあると思います。このようなことを私は提案させていただきます。

以上で終わります。ご静聴ありがとうございました。

以上